



野球殿堂入り表彰式

館長 庄司正信

競技者表彰・エキスパート表彰で殿堂入りされた栗山英樹さんの表彰式を、7月28日に東京ドームで行われたオールスターゲーム第1戦の試合開始前に行いました。

栗山さんは1984年にドラフト外でヤクルトに入団。89年には外野手としてゴールデングラブ賞を受賞。現役引退後はスポーツキャスターとして活躍。2012年に日本ハムの監督に就任し、同年リーグ優勝を果たしました。13年に入団した大谷翔



左から：フレップ、榊原定征理事長、栗山英樹氏、日本ハム・新庄剛志監督 写真提供：ベースボール・マガジン社

平選手を投打の“二刀流”として育て、16年には球団として10年ぶりの日本一を達成しました。21年に野球日本代表（侍ジャパン）の監督に就任し、23年に開催されたワールド・ベースボール・クラシックではチームを3大会ぶり3度目の世界一に導きました。

セ・リーグ、パ・リーグ両軍の選手・監督・コーチがベンチ前に整列し、大型ビジョンでの紹介映像とともに栗山さんが登場されました。始めに、野球殿堂博物館・榊原定征理事長より記念のレリーフのレプリカが贈られ、その後、日本ハム・新庄剛志監督から花束の贈呈が行われました。皆さんそろっての記念撮影では、日本ハムのマスコット・フレップの飛び入り参加がありました。

続いての挨拶で栗山さんより、まず表彰式の直前に発生した熊本の大地震に関して被災地を気遣われる発言がありました。そして、ご自身の野球人生に関わった方たちへの感謝の言葉に続き、「微力ではありますが、少しでも野球の力になれるよう、全力を尽くしてまいります」と決意を語られました。結びに、ファンの皆さんへ「これから野球が発展するためには皆さんの力が必要です」との熱いメッセージを送りました。最後に改めて、満員の客席から受賞された栗山さんに大きな拍手が送られました。

今回の表彰式では、ご自分の表彰式のことより控室のテレビで映し出される震災の状況を心配されている栗山さんの姿が印象的でした。プレーヤー表彰対象期間には候補者に選出されなかった栗山さんが、エキスパート表彰で野球殿堂入りされたことは、指導者としての功績を評価するエキスパート表彰設立の趣旨にまさしく適ったことです。

栗山さん、この度は野球殿堂入り誠にありがとうございます。



古葉竹識 氏

殿堂入りの人々を語る(79)

『古葉スマイル』と『耐えて勝つ』

古葉隆明 (1999年野球殿堂入り 古葉竹識氏 三男)

広島東洋カープで11年、横浜大洋ホエールズで3年、計14年にわたる監督生活の中で、実際にあった出来事や大切にしていたことを、いくつかご紹介いたします。家族の視点からの回想であるため、当時のスタッフや選手、ファンの方々からすれば「本当だろうか」と感じられる点もあるかもしれませんが、ご容赦いただければ幸いです。

『古葉スマイル』

父の監督時代をご存じの方であれば「古葉スマイル」という言葉を耳にされたことがあるでしょう。母に言わせると「外では愛想がいいだけよ」とのことでした。確かに家庭では寡黙で、特に勝敗について多くを語ることはありませんでした。家族に心配をかけたくないという気持ちが強かったのかもしれません。

一方で、ファンとの関係は大切にしていました。カープでの開幕戦当日の朝には、応援団が自宅に集まり「出陣式」を開いてくださり、ホエールズ時代には「横浜古葉会」という集まりを定期的に開催していただきました。

『それ行けカープ』

プロフィールでは「趣味は読書」と紹介されることが多かったのですが、実際に読書をする時間は殆どなかったのではないかと思います。その一方で歌うことは大好きで、デュエットながらCDデビューを果たしています。

なお、カープ応援歌「それ行けカープ」は、作詞家の有馬三恵子さんが「古葉さんに歌ってほしい」との思いで作られたものですが「恥ずかしいからやめてほしい」という母の意向もあり、実現には至りませんでした。

『ベンチの隅に立つ』

試合中、父はベンチの隅に立ち続け、選手の動き、投球や打球の質、走塁や守備の一步目に至るまで、一球たりとも見逃すことなく目を配っていました。常に選手と同じ目線、同じ緊張感でグラウンドに立ち続けるその姿勢は、言葉以上にチームへ大きな影響を与えていたのだと思います。そこには「高いお金を払って観に来てくださっているファンに、お粗末なプレーは見せられない」という強い思いがありました。

『新人王』

1975年にカープが初優勝を果たした後、それまでカープには受賞した選手がいなかったことから「新人王獲得計画」を立てました。これは「入団5年以内で登板イニング30以内の選手に資格がある」という条件を踏まえたもので、対象は北別府学さん(2012年殿堂入り)でした。1年目の登板を30イニング以内(実際には29.1イニング)に抑え、翌年に勝負をかけるという構想です。結果として新人王獲得には至りませんでしたが、その後の北別府さんのご活躍は周知のとおりです。

『江夏の21球』

日本一を懸けた最終戦。敗ればすべてが終わる状況で、江夏豊さんは7回から登板しました。リーグ戦であればブルペンに投手を準備させることはなかったかもしれませんが、NHKの番組でも、江夏さんは「同点は覚悟していた」と語っています。父は9回裏での投手交代をまったく考えておらず、延長戦も見据えたうえでの采配でした。監督として最善の選択だったのだと思います。

『耐えて勝つ』

短期的・長期的な視点を併せ持って常にチームづくりを行っていました。山本浩二さん(2008年殿堂入り)をセンターからレフトへコンバート、高橋慶彦さんをショートとして育成する際にはチーム内外から反対意見もありましたが、将来を見据えた決断でした。ホエールズ時代にはそのような取り組みが十分な結果へ結びつかず、5年契約のうち3年で退任することとなりました。しかし、その後の谷繁元信さん(2024年殿堂入り)や石井琢朗さんのご活躍を思えば、もう少し「耐えて」挑戦を続けてほしかったという思いも残ります。

『野球殿堂』

1999年に野球殿堂に選出していただきました。父が最後に野球殿堂博物館を訪れたのは、2019年に久米宏さんとのインタビューをお受けしたときだったと記憶しています。

野球を愛し、人を愛した人物でした。これまで関わってくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

展示紹介

企画展「WORLD BASEBALL CLASSIC 侍ジャパン、世界一への挑戦 2026」

会期：2026年2月23日(月・祝)～5月6日(水・休)

「2026 WORLD BASEBALL CLASSIC」開催に合わせ、2006、2009、2013、2017、2023年の過去5大会の記録と記憶をたどり、今大会に出場する野球日本代表「侍ジャパン」を応援する企画展を開催しました。第1回大会から毎回収集している関連資料(2006、2009、2023年優勝トロフィー、各大会ウィニングボール、中心選手の使用用具等)を多数展示いたしました。



「野球殿堂博物館」と「甲子園歴史館」による相互展示

会期：2026年5月19日(火)～24日(日)

野球殿堂博物館と甲子園歴史館が収蔵資料を交換展示する相互展示を実施しました。当館では、阪神タイガースの才木浩人投手のスパイク、坂本誠志郎選手のフットガード、佐藤輝明選手のプロ初本塁打達成時に着用したバッティング手袋とスパイクを展示しました。また、甲子園歴史館では、読売ジャイアンツの吉川尚輝選手のバット、山崎伊織投手のグラブなどが展示されました。



企画展「侍ジャパンと世界に広がる野球」

会期：2026年5月15日(金)～8月31日(月)

野球日本代表「侍ジャパン」を切り口に、世界へ広がる野球の歴史と現在を紹介する企画展を開催しました。本展では、侍ジャパン各世代のユニホームや使用用具、女子野球ワールドカップ、ユースBaseball5アジアカップ、U-18ベースボールワールドカップの優勝トロフィーなどを展示しました。また、国際大会の記録資料や、NPBで活躍した各国出身選手の資料、2026年WBC本大会出場国20チームの帽子などを通して、世界各地に広がる野球の魅力を紹介しました。



松元ユウイチ氏来館



内覧会ゲスト・六角彩子氏

コーナー展「野球と戦争」

会期：2026年7月28日(火)～8月31日(月)

戦争で命を落とした野球人と、その記憶を後世に伝える取り組みを紹介するコーナー展示です。戦没したプロ野球選手を追悼する「鎮魂の碑」と、中学校野球・大学野球・社会人野球で戦没した野球人を慰霊する「戦没野球人モニュメント」の歴史を紹介しました。あわせて、プロ野球草創期を代表し、ともに戦争で命を落とした沢村栄治(1959年殿堂入り)と景浦将(1965年殿堂入り)に関する資料を展示しました。



「長嶋茂雄 一周忌特別展示」

会期：2026年6月2日(火)～7月11日(土)

2025年6月3日に逝去された長嶋茂雄氏を偲び、一周忌特別展示を開催し、長嶋氏の功績を紹介しました。当初は6月7日までの6日間の開催予定でしたが、多くの反響を受け、会期を7月11日まで延長しました。



プロ野球レジェンドOB特集展示

2026年シーズン、東京ドームでの試合開催日を中心に、各球団のレジェンドOBの資料を期間限定で展示しました。



益田直也投手通算250セーブ達成記念展示

2026年8月26日からNPB史上5人目となる通算250セーブを達成した益田直也投手の記念展示を開催しました。

達成時に着用したスパイクや達成試合の使用球などを展示しました。



野球の学校2026 夏休み特別企画「野球で自由研究！」

会期 2026年7月18日（土）～8月23日（日）

主催 公益財団法人 野球殿堂博物館 共催 一般社団法人 日本野球機構

夏休み期間、小学生のみなさんの自由研究を応援する恒例企画「野球で自由研究！」を開催しました。展示、イベント、相談コーナーなどからなる複合企画で、多くの小学生の皆さんにご参加いただきました。

①特集展示「野球のひみつ」

野球のルールや用具の変遷をパネルと実物などを通じて紹介しました。楽天・村林一輝選手グラブをはじめプロ選手のグラブ、バットを実際に体感できるコーナーや、ボール、バット、グラブ、ユニホームの進化がわかる展示を行い、実物を体感したり、比較したりしながら自由研究ができる内容としました。



②お悩み相談コーナー

図書館では今年も「野球」をテーマに自由研究をしたい子どもたちをサポートする「お悩み相談コーナー」を開設しました。テーマ決めや調べ方、資料紹介などを図書館スタッフがサポートし、今年は86人の小学生が参加しました。



③実演・特別イベントなどを開催

特別イベントとして内川聖一さん（元プロ野球選手）によるトークイベント「プロ野球選手のひみつ」や、恒例の「ボールを遠くへ飛ばすには?」、「夏休み審判学校」や「グラブ製作教室」、「バット製作実演」を実施しました。また、職員によるミニミニ実験コーナーも7日（計12回、各20分）実施。ボール、変化球、バット、グラブ、歴史をテーマとし自由研究のヒントになるよう実施しました。

「内川聖一さん プロ野球選手のひみつ」

日時：7月27日（月）11:00～12:00

講師 内川聖一氏（元プロ野球選手）



「ボールを遠くへ飛ばすには?」

日時：7月24日（金）11:00～12:00

講師 中日ドラゴンズ 中島大貴氏
（データ戦略グループ アナリスト
兼バイオメカニスト）



「夏休み審判学校」

日時：8月3日（月）11:00～12:30

講師 NPB森健次郎審判長、平林岳シニアスーパーバイザー、審判員・郡司真里氏、笹真輔氏、野村奏斗氏



「グラブ製作教室」

日時：8月4日（火）、5日（水）

①10:30～12:30

②14:00～16:00

講師 ミズノ株式会社 秋山裕司リペアクラフトマン、村上育則氏



「バット製作実演」

日時：8月6日（木）①11:00～12:00

②13:30～14:30

③15:00～16:00

講師 ミズノテクニクス株式会社 吉田健一クラフトマン



「ミニミニ実験コーナー」

日時：7月23日（木）、26日（日）、
8月10日（月）、11日（火・祝）、
14日（金）、17日（月）、19日（水）
小学生計105名が参加



野球殿堂博物館 トピックス

里綾実投手 ご来館

アメリカの女子プロ野球(WOMEN'S PRO BASEBALL LEAGUE)、ロサンゼルス・クイーンズ所属で、元女子野球日本代表の里綾実投手が来館し、第8回WBSC女子野球ワールドカップのMVPシャレーや、WOMEN'S PRO BASEBALL LEAGUE に向けてのスプリングトレーニングで着用されたユニホームなどを寄贈いただきました。



■野球の学校2026

栗山英樹氏野球殿堂入り記念トークイベント

日時 2026年6月26日(金) 16:30~17:30

栗山英樹氏の2026年野球殿堂入りを記念し、トークイベントを開催しました。北海道日本ハムファイターズ監督時代のことや2023年 WBC での裏話など、ご自身の監督人生を振り返りながらお話いただきました。

■野球の学校2026

トークイベント「2026年の野球規則改正」

日時 2026年6月27日(土) 17:30~18:30

NPB野球規則委員の山川誠二氏をお迎えし、2026年の野球規則改正のポイントや今後の見通しなどをお話いただくトークイベントを開催しました。試合映像を活用しながら分かりやすく解説していただきました。



■野球の学校2026

公式記録員が教える「NPB式スコアの付け方」教室(初級編)

日時 2026年7月4日(土) 10:15~11:45

NPB記録部長の山川誠二氏をお迎えし、「NPB式スコアの付け方」教室(初級編)を開催しました。公式記録員の業務内容、NPB式(慶応式)のスコアの特徴を説明していただいた後、記録法について試合映像を観ながら解説していただきました。

東京六大学野球連盟 新人見学会開催

東京六大学野球連盟新人合同研修会終了後、当館に移動して見学会が開催されました。学生の皆さんは大学野球関係の展示を熱心に見学されていました。また、2025年に開催されたU-18野球ワールドカップに出場した阿部葉太選手(早大)、為永皓選手(明大)、奥村凌大選手(法大)から、集合写真パネルにサインをいただきました。



野球殿堂博物館 トピックス

栗山英樹氏 ご来館

2026年に野球殿堂入りされた栗山英樹氏が来館されました。「2026年野球殿堂入り特別展」(～10月4日)をご見学いただきました。



■野球の学校2026

公式記録員が教える「NPB式スコアの付け方」教室(上級編)

日時 2026年8月20日(木)

初めて球場のスタンドで上級編を開催しました。初級編と同様に、NPB記録部長の山川誠二氏をお迎えし、東京ドームで開催されたファーム公式戦、読売ジャイアンツ対ハヤテベンチャーズ静岡の試合を実際に観戦し、スコアをつけながら解説していただきました。



侍ジャパンU-18代表チーム来館

8月30日(日)、第14回 BFA U18アジア選手権への出場を控えた侍ジャパンU-18代表チームが来館し、館内の展示を見学しました。



「やきゅうの本だな 拡大版」

図書室では、2026年5月より右記日程で「やきゅうの本だな 拡大版」として、図書室を臨時開室しました。開催日には、図書室の蔵書の中からテーマにあわせた野球に関する図書や雑誌をご紹介しました。

※「やきゅうの本だな」とは…2025年3月より図書室前に開設した図書室の蔵書を気軽にご覧いただけるコーナーです。

開催日	特集展示テーマ
5/16(土)	横浜DeNAベイスターズ
5/23(土)	阪神タイガース
6/6(土)	千葉ロッテマリーンズ
6/20(土)	中日ドラゴンズ
9/5(土)	社会人野球
9/12(土)	阪神タイガース
9/19(土)	読売ジャイアンツ



展示のお知らせ

企画展「明治神宮野球場 100年」

会期：2026年9月5日(土)～11月24日(火)

協力 明治神宮外苑、公益財団法人 日本学生野球協会、公益財団法人 全日本大学野球連盟、一般財団法人 東京六大学野球連盟、一般財団法人 東都大学野球連盟、株式会社 ヤクルト球団

今年竣工100年を迎えた明治神宮野球場の企画展で、神宮球場での試合や出来事にかかわる資料、同球場を舞台に活躍した選手たちの用具などを展示し、神宮球場の歴史と現在を紹介しています。

【主な展示資料】神宮球場創建時外壁、山中正竹(法大)東京六大学野球連盟 通算最多勝記録(48勝)ウイニングボール、高橋由伸(慶大)東京六大学野球連盟通算最多本塁打記録(23号)バット、井口忠仁※(青学大)東都大学野球連盟 通算最多本塁打記録(24号)ホームランボール ※現 資仁(侍ジャパントップチーム監督)、野村克也監督(ヤクルト)着用ユニホーム



野球殿堂博物館 維持会員 (2026年9月5日現在・順不同・敬称略)

2026年度維持会費をご入金いただき、有難うございました。今後ともよろしくお願い致します。

《法人・プラチナ会員 -10年以上継続-》

株式会社シミズオクト、株式会社テレビ朝日、株式会社横浜スタジアム、麒麟ビール株式会社、日本テレビ放送網株式会社、株式会社TBSテレビ、株式会社文化放送、株式会社竹中工務店東京本店、株式会社日刊スポーツNEWS、一般社団法人共同通信社、株式会社ニッポン放送、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング、公益財団法人日本野球連盟、株式会社スポーツニッポン新聞社、株式会社ベースボール・マガジン社、株式会社東京ドーム、株式会社東京ドームファシリティーズ、株式会社関電工、株式会社電通、株式会社報知新聞社、公益財団法人全日本軟式野球連盟、ミズノ株式会社、株式会社みずほ銀行、サッポロビール株式会社、サントリー株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、後楽園事業株式会社、オリンピア興業株式会社、松戸公産株式会社、株式会社ムラヤマ、株式会社毎日新聞社、株式会社読売新聞東京本社、株式会社朝日新聞社、株式会社テレビ東京、株式会社兵左衛門、田村駒株式会社、株式会社レッツ、株式会社エポック社、株式会社東京ドームスポーツ、東京ケーブルネットワーク株式会社、株式会社東京ドームホテル、太平広告株式会社、株式会社時事通信社、進商事株式会社、株式会社エース企画、株式会社アドサービス

《法人・ゴールド会員 -5年以上継続-》

シャープ産業株式会社、株式会社東洋ビルサービス、一般社団法人全日本女子野球連盟、株式会社丸和運輸機関、株式会社コナミデジタルエンタテインメント、株式会社BS日テレ、株式会社CS日本、三井不動産株式会社

《法人・一般会員 -5年未満-》

一般社団法人日本ポニーベースボール協会、日本ハム株式会社、株式会社岩手日報社、大正製薬株式会社、株式会社エース・トレーディング、社団法人台湾球芽棒球發展協會、医療法人昌成会 國司眼科醫院

《個人・プラチナ会員 -10年以上継続-》

ロバート・クレベンズ、佐山和夫、池井優、永田陽一、川俣茂、明石真和、高井正秀、田口昌裕、山崎眞澄、泉正二郎、景浦隆男、狩野美知夫、林秀樹、前藤衛、小川拡、田中進一、齋須将、藤田啓二、荒田正治、蛭間豊章、大森正樹、古賀裕章、磯部和宏、小尾尚、前田恵、安井敬一、中村真悟、平野禎、灘谷和徳、松田栄、篠原一郎、喜屋武文雄、南部正広、折居教彦、伊藤正浩、小碇秋人、永瀬郷太郎、井野修、野崎康之、潮田昌憲、久岡公一郎、中本夏樹、高橋和則、鈴木龍一、塚原隆、田名部和裕、内山雅博、津田倫太郎、藤田正身、山崎夏生、遠山泰久、古屋晶久、佐々木敏明、森川圭造、廣瀬信一、井上勝利、瀬戸口久雄、菊田康彦

《個人・ゴールド会員 -5年以上継続-》

手島康彦、岩瀬敬之、日下正剛、坂下善紀、加藤 肇、林一好、盛田房利、岡佳和、前田茂、松山昌之、大熊哲夫、鱈 正明、井上翔太、根本昭児、庄司正信、樋口亘、土屋隆、岡田洋美、増永武義、西本光春、南雲靖夫、佐藤達之、鈴木国明、溝口明、海北光正、上村純子、大野敏和、岩村直道、佐藤吉昭、三上毅、棟方史幸、亀田健、小野祥之、影山一義、筆谷敏正、大川大作、菊池正恒、大野幸男、高山樹里、平井正彦、鴉田隆司、大條晋也、淵上悠人、見米達也、堤 哲、佐藤光保、福島良一、松井真、小澤正修、北井誠一、嶋津龍太、北原義一、鈴木恵美子、梶忠、三宗大介、安田拓人、山戸勝伸丞、土屋 健太郎

《個人・一般会員 -5年未満-》

栗山英樹、増田龍太郎、山岸茂幸、山戸隆誠、吉岡勝彦、水野哲樹、森田稔一、尾塚智憲、佐藤晃、松田吉隆、向坂雄典、大島正敬、佃 圭祐、石黒真奈美、山崎陽斗、工藤三郎、榊原定征、小笠原悠太、栗山智砂子、黒川隆、広澤克実、那須勇元、山脇剛大、小林薫、相澤孝行、櫻井宣久、山田雄一、金子智直、佐々木浩平、中村哲也、有光司馬、吉村一也、太田理、須田誠一、川瀬健人、前田泰孝、頼久貴行、川岸聖和、岡本成、岡本拓海、米沢谷友広、檜木隆広、小坂橋明、炭谷正滋、富田光、石井隆尋、小久保正美、杉山英司、松平浩、田中浩二、半谷亮、田所洋二、亀井俊介、打矢裕、藤岡浩二、松村和佳子、清水弘樹、中島康雄、中村勝彦、大迫佑介、加々美智樹、宗像信大、小池一利、沼山尚一郎、山本将大、木村祐麻、折田雄平、島野智之、水野高志、戸嶋崇人、佐藤淳子、村井俊文、前田倫宏、西見敬一郎、斎藤裕、佐伯正人、倉本彩絵花、周思齊、林田和幸、細野昭夫、吉野裕之、上田芳子

《ジュニア会員》

大山翔陸、大島玄慈、奈良結人、二瓶恭輔

「第11回 野球で自由研究! コンテスト」開催決定!

主催 公益財団法人 野球殿堂博物館
共催 一般社団法人 日本野球機構
協力 株式会社 NPBエンタープライズ

野球をテーマにした小学生の自由研究を対象に「第11回 野球で自由研究! コンテスト」を開催いたします。これまでのべ1,400人以上の小学生から応募がありました。募集期間は2026年8月1日(土)～11月15日(日)です。

2027年3月頃に受賞作品を発表し、受賞作品を中心とした作品展を館内で開催する予定です。応募者全員に博物館オリジナル参加賞を送付いたします。今年もたくさんのご応募をお待ちしております。

■詳しい申込方法等については、ホームページをご覧ください。

<https://baseball-museum.or.jp/jiyu-kenkyu/contest/>



博物館からのお知らせ

▶博物館公式グッズ/新商品のご案内

●ポストカード

販売価格: 120円(税込)

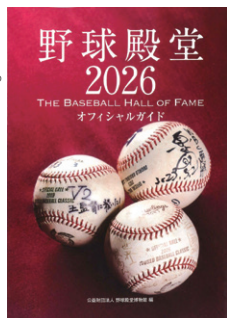
今年殿堂入りされた、栗山英樹氏のポストカードが新たに加わりました。当館受付及びオンラインショップで販売しておりますので、ぜひお求めください。



●野球殿堂2026 The Baseball Hall of Fame オフィシャルガイド

販売価格: 3,300円(税込)

待望の2026年最新版が登場しました。新たに2024年野球殿堂入りの谷繁元信氏、黒田博樹氏、谷村友一氏、2025年野球殿堂入りのイチロー氏、岩瀬仁紀氏、掛布雅之氏、富澤宏哉氏、2026年野球殿堂入りの栗山英樹氏を収録し、計223名の顕彰者を紹介しております。野球殿堂入りされた方々の功績を通じて、日本野球の歴史をお楽しみいただけます。



●マグカップ(クリーム)

販売価格: 各1,500円(税込)

新色のクリーム色が登場しました。バットとボールをモチーフにした、当館オリジナルの商品です。重ねられるスタッキングタイプになります。※この商品は、一つ一つ手作業で色を塗布しております。そのため、多少色合いが異なる場合がございます。



●編集後記 今年の夏も、野球殿堂入り表彰式や「野球で自由研究」等を無事に開催することができ、関係者及びご協力いただいた皆様に感謝致します。また、イベントに参加してくれた子供たちが更に野球に興味を持ってくれると嬉しいですね。

▶第1回理事会(5月22日 東京ドームホテル)

議題1. 2025年度事業報告・決算報告・監査報告の承認について
議題2. 評議員候補者の承認について
議題3. 会議日程等の承認について
報告1. 業務執行理事の職務の執行状況について

▶定時評議員会(6月8日 オンライン開催)

議題1. 2025年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の承認について
議題2. 定款変更の承認について
議題3. 理事の選任について
報告1. 2026年度事業計画及び収支予算について
報告2. 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について
報告3. 職員採用について

▶新任

3月1日付にて山路隼人が事業部・学芸員室に入職しました。

▶訃報

1990年に野球殿堂入りされました張本勲氏が9月9日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

場 所 東京ドーム21ゲート右
開館時間 10:00～17:00(最終入館16:30)
※東京ドームでのプロ野球開催日は、18:00閉館(最終入館17:30)
入 館 料 大 人 800円 小・中学生 200円
高・大学生 500円 65歳以上 500円
休 館 日 月曜日(祝日、東京ドームでの野球開催日、春・夏休み中は開館)、年末年始(12月29日～1月1日)

※2026年の年末年始は(12月28日～1月1日)となりますので予めご了承ください。

※休館日及び開館時間に変更する場合がございますので、事前に当博物館ホームページにてご確認ください。

野球殿堂博物館 Newsletter 第36巻 第2号

2026年9月24日発行

編集・発行 公益財団法人 野球殿堂博物館

〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61

Tel 03(3811)3600 Fax 03(3811)5369

<https://baseball-museum.or.jp/>

